

平成22年度 唐津市立馬渡小中学校 学校評価計画

1 学校教育目標
思いやりを持ち(徳)、自ら学び(知)、心身を鍛え(体・情)、21世紀を生き抜く(児童・生徒)の育成

2 学校経営ビジョン	
【めざす学校像】 明るく、活力に満ち溢れる学校 【めざす教師像】 教育理念に支えられた教育愛と使命感のある教師 【めざす児童像・生徒像】 すずんで自分のよいところを伸ばす、児童・生徒	品位と風格のある学校 研修に励み、実践的指導力を磨く教師 すずんで自分の力を生かす児童・生徒

3 本年度の重点目標	4 前年度の成果と課題
基礎学力の定着をめざす学習指導の充実 心を育てる生徒指導の充実 開かれた学校づくりの推進	授業に「学び合い活動」を取り入れたり、「学習のてびき」を作成したりして、自分の思いを伝え合う力の育成や学習習慣の定着を図ってきた。 全国や県の学習状況調査の結果を踏まえながら、小中併設校の利点を生かし、さらに指導体制の工夫や授業の活性化を図り、基礎学力の充実を推進していきたい。

5 総括表				
領域	評価項目	評価の観点 (具体的評価項目)	具体的目標	具体的方策
学校運営	学校経営方針	児童・生徒目標の周知	教職員、児童・生徒、保護者に周知する。 認知度を85%以上にする。	・各教室に掲示する。 ・学校便り、育友会総会、学級懇談会等で周知し、具体的取り組みを説明する。
	開かれた学校づくり	地域と共にある教育活動の展開	主な学校行事への参加率を85%以上にする。 学校ホームページの更新を週1回以上行う。	・学校便り、育友会総会、学級懇談会等で周知し、具体的取り組みを説明する。 ・参加しやすい方法を工夫する。
教育活動	学力向上	少人数指導・TT指導等による基礎・基本の定着 発展的な内容への取組	唐津市基礎学力テストの通過率を80%以上にする。 全国学力・学習状況調査、佐賀県学習状況調査の通過率を前年度比+5ポイントをめざす。	・計画的に少人数指導・TT指導を実施する。 ・習熟の遅い児童・生徒に対して個別指導を実施する。 ・習熟の早い児童・生徒に対して発展的な内容の指導を行う。
		授業における「学び合い」の場の設定と工夫	それぞれの学年・教科において、「ペア学習」「グループ学習」などの学び合いの場や方法の工夫を行う。	・1単位時間の学習過程における、「学び合い」の場の設定 ・単元計画の中における「学び合い」の場の設定
		授業規律の確認と徹底	小・中学校で一貫性・連続性のある授業規律の作成と児童・生徒への周知・徹底 発達段階に応じた「発表のルール」の作成	・ノーチャイムで時間を守るための指導を工夫する。 ・学習用具の準備、始業前の着席を徹底する。 ・忘れ物がなくなるよう、適切な指導を行う。
	小中学校の職員の授業交流の推進	小学校職員が中学校の授業に、中学校職員が小学校の授業に出授業として出る時間を、前年度比20%アップさせる。	・中学校教員の専門性を、小学校に生かす。 ・小中学校それぞれの教育課程の工夫。	
	一人あたりの図書貸出冊数の増加と読書の質の向上 図書館利用の推進	朝読書の時間の確保と本の選び方についての指導 バーコードリーダーと管理システムソフトを用いた図書貸出しシステムの構築	・朝読書の充実 ・図書館のICT化 ・図書館だよりの発行	
	家庭学習の充実	学年に応じた家庭学習時間を確保する。 (10分～15分×学年 例：15分×6年＝90分)	・各学年の学習時間の設定と周知。 ・定期的な学習状況の確認。	
	心の教育	道徳の時間の充実	道徳の授業を年1回以上公開する。 道徳教材・資料の共有化	・全学年で授業参観において道徳の授業を実施する。 ・教材、指導案(略案)、ワークシート等をデータ保存・ファイリングし、本校の教育資源として共有化を推進する。
健康・体づくり	基本的な生活習慣の定着	「起床」「就寝」「食事」など、規則正しい生活習慣を身につける。 月目標を意識した生活を心がけさせる。 遅刻0を目指す。	・年間を通して、朝のあいさつ運動を実施する。 ・学校生活アンケートを月ごとに実施し、振り返りの場面をつくる。	
	食育の推進	全児童・生徒が毎朝ごはんを食べる。 朝食内容の向上について啓蒙を図る。	・食育便りの月1回発行。 ・朝食状況調査の実施。	
特定課題	小学校低学年の学習環境改善充実	基本的な学習習慣の育成	発表のしかたや授業の準備などの、基本的な学習習慣の基礎となることを、全児童に確実に定着させる。	・「ハンドサイン」、「発表のルール」を用いた発表のしかたの定着。 ・日々の継続的な指導による授業の準備の定着。